



2016年9月号
(隔月発行)

発行所
セブ日本人会
5th Floor
Clotilde Commercial Bldg.
ML Quezon St., Casuntigan,
Mandaue City, CEBU
TEL: (032) 343-8066
FAX: (032) 343-7663
発行人: 櫻井絹恵
編集人: セブ日本人会
http://www.ja-cebu.com
info@ja-cebu.com

2016年セブ観音戦没者慰霊祭

日本人会会長 櫻井絹恵

終戦後71年の戦没者慰霊祭をマルコ・ポーロホテル敷地内にあるセブ観音で行い、90名の方々に御参列を頂きました。8月15日は日本中で、また海外の各地で慰霊祭が開催されています。世界中で戦没された方々の霊に祈りを捧げると共に、戦争を絶対に繰り返してはならないと永延の平和を誓う日でもあります。

された方々が喜んでおられると存じます。毎年御世話になっているマルコ・ポーロ様には会場設置や軽食、お花を準備して頂き毎年の慰霊祭で格別な配慮を頂いています。献酒を頂きましたダッシュ様、ソウハツ様、町屋様、すみれ会様、神楽様に、またお布施を頂いた御遺族の渡辺様、平古場様、奥井様、高谷様、有賀様にこの場を借りて御礼を申し上げます。

戦没者慰霊祭は懸念されていた雨は降らず、薄曇りで南西の風の好天候に恵まれました。セブシナプロケミカルの西川様司会進行により式典は行われ、比国及び日本の国歌斉唱、在フィリピン大使館植野公使に追悼の辞を頂き、セブ日本人会会長挨拶、参列者全員による御焼香と献花、西川様よりのセブ観音の建設についての経緯、閉会の辞は石田元会長にして頂きました。追悼慰霊の懇談会では、セブ日本人商工会議所川野会頭に御献杯を頂き、セブの御長老様岡元会長より慰霊歓談をして頂きました。

今日参戦した方々は御高齢となられ戦争体験を語り継がれる事は困難になつていおりますが、遺族の方々は現地でのお参りを希望されております。今年も多くの在留邦人の皆様にお参りを頂いており、また毎年参拝される横浜居住の平古場様、大阪府海外移住家族会の奥井様、昨年に続きトビタテ留学 JAPAN の高校留学生や大学生などの若い人達にお参りに来て頂き、戦没

イテ海戦など多くの本や映画、特別番組などで伝えられています。私自身もセブに來た当時、この戦場で戦ったリロアン部隊に所属されていた阿久津さんや、カモテス諸島で殆どの戦友を失って御自分も重症をおった清水さんより地獄録とも言える悲惨な話を聞きました。

しかし、フィリピン側の死者は111万に及んで、当時の国民の16人に1人が亡くなっていることは日本では余り知られていません。アメリカからの独立が間近だったフィリピンに日本が進軍した故で、フィリピンは決して望んでいなかった戦争の渦に巻き込まれていきました。

「貴国の国内において日米両国間の熾烈な戦闘が行われ、貴国の多くの人が命を落としました。私も日本人がけて忘れてはならないこと」とアキノ大統領主催の晩餐会での天皇陛下のお言葉に陛下思いが凝縮されております。フィリピンの人々の「許す」という寛大さに甘えることのなく、71年経った今も過去を忘れてはなりません。

私が嫁いだ華僑の祖父母は中国福建省から戦前にフィリピンに移民して来ました。祖父は大東亜戦争が勃発した当時、セブ華僑



商工会議所の会頭でした。その祖父は南京事件勃発後、反日運動の第一人者として活動していたため、家族全員が虐殺対象として憲兵隊に追われ、ビサヤ中を逃げまわったそうです。カモテス諸島の洞窟の中で一晩中海水の浸って隠れたこともあり、その時銃で打たれて大怪我をしていた祖父は破傷風で瀕死状態になりました。纏足だった祖母はまだ幼かった7人の子供を抱えて不自由な足で逃げまわったそうです。私が嫁いだ時の祖母は92歳でした。戦争で日本人を恨み、忌み嫌っていたはずなのに祖母は親族の誰よりも暖かく私を受け入れてくれました。

33年前のセブは反日感情が残っており、草の根活動を続けていた青年海外協力隊も、石や卵を投げられたり、棒を持って追いかけられたりした時代で、私も戦争経験者や遺族から辛い話を聞かされたもので

私の故郷は鹿児島で知覧と鹿屋特攻隊基地があります。特攻隊記念館に隣接するお寺には帰る度にお参りし、お国のために若くして散っていった特攻隊員の霊に祈り続けています。2人の息子を持つ私には母として彼らの想いが痛いほど分かります。セブ観音から見えるIT Park は旧陸軍が使っていたラホグ飛行場があり、WaterfrontからJPMorganに続く道路には初めての神風特別攻撃隊が飛んだ滑走路がありました。

2001年米国での同時多発テロから世界が激動の時代を迎えています。イスラム国 ISIS の無差別テロが東南アジアに飛び火しています。Bangladesh で起こった日本人専門家7人犠牲になった襲撃事件では、メガセブの都市計画で美しい地図を作成して下さったアルメックの酒井さんが殺害されました。フィリピン国内ではアブサヤフなどの過激派組織とISISとの連携が心配されます。また、中国は南沙諸島の埋め立てによる人工島建設や、尖閣諸島でのアグレッシブな動きで領空海侵略を繰り返し、実効支配を強行して日本やフィリ

ンとの緊張を高めています。北朝鮮は核兵器を開発準備しつつあり、頻繁に挑発的とも言える行動を繰り返しています。「戦争の足音が聞こえる。」と先の戦争を経験した老人の言葉が重く聞こえました。

今年5月には、オバマ大統領が現職のアメリカ大統領として初めて被爆地・広島を訪れ、原爆投下国として第二次世界大戦の全ての犠牲者に追悼の意を示し、平和への祈りを捧げた事は世界中の人々に高く評価されました。オバマ大統領が自ら折った折り鶴には核兵器を絶対に使ってはならない思いがこめられ、また「核なき世界」を主導する責任についても歴史的なスピーチで言及されました。過去の謝罪ではなく、未来の核兵器廃絶につなげる、被爆地の市民が長年切望してきたことなのです。北東アジアの厳しい安全保障環境を常に考慮しつつ、核軍縮を進めることの大切さを唯一の被爆国日本は訴え続ける必要があります。

私達は先の戦争の悲惨さを後世に語り続ける義務があり、決して真実を忘れてはなりません。永延の平和を祈るとともに、先の大戦でかけがえのない命を落とされた全ての方々のご冥福を心よりお祈りいたします。



★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール: info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

「南方第14陸軍病院関係者」慰霊碑

セブ市内の中心にあるヴィセンテ・ソット記念医療センター（旧サザンアイランド病院）の敷地内には「南方第14陸軍病院関係者」の慰霊碑があります。

赤十字マークが印象的なこの慰霊碑が建っている場所は、かつて大日本帝国陸軍病院がありました。

この病院では米軍の空爆により、多くの医療従事者、負傷兵が犠牲になりました。

そして終戦32年の1977年3月10日、戦友遺族団によりようやく慰霊碑が建立されました。慰霊碑の傍らには、フィリピンと京都日比地蔵尊保存会有志によって地蔵菩薩像も築かれました。

しかし、近年では慰霊碑は色あせ、お地蔵様は台座から落ち、柵は老朽化し痛ましい状態でした。

そんな折、元日本人会会長石田氏が慰霊碑と地蔵菩薩像の修復計画をしていたところ、JYMA（日本青年遺骨集団）様が修復費用の半分を寄付して下さることとなり、更にはカンボジアの援助をしている平古場正行様からも寄付を頂きました。台座はセブ在住の皆様の寄付にて何とか修復作業が行われ、2015年7月工事が完了しました。

また、慰霊碑を囲っていた古い柵は塗装を塗り変え、フィリピンの英雄ラブラブを讃えた像の柵として再活用する事となり、そんな所でも役立てた事にありがたく思いました。昨年の戦後70年終戦記念日である2015年8月15日には、午前11時30分より香華を手向け、JYMA（日

本青年遺骨集団）のスタッフ様が日本より持参した水を捧げ、慰霊祭も執り行いました。

戦地では、多くの兵士が傷病で倒れています。当時「病院」にはいくつかのランクがありました。前線から「包帯所」↓「野戦病院」↓「兵站病院」そして「軍病院」へと移送されて行きます。

最前線で負傷したら、まず向かうのが「包帯所」です。兵隊は前線で負傷すると、まず自力が衛生兵によって応急手当を受けて「包帯所」まで下がります。重傷者は、さらに担架によって「野戦病院」に運ばれ、軍医による診察と必要な手術などが行われます。「野戦病院」と言っても、戦場に展開する師団に3ヶ所から5ヶ所設置されるものですから、たいていがテントか接收した建物になります。そして、症状の安定を待って負傷兵は患者輸送部によって後方の「兵站病院」に移送されます。更に、長距離の移動に耐えられる体力が回復すると、病院列車で病院船の待つ港に引き渡され、本土では「陸軍病院（海軍では海軍病院）」に入ります。

セブ島は日本軍のビサヤ諸島防衛の中心拠点で、兵站基地として海軍の大規模な飛行場と第33特別根拠地隊、陸軍の第102師団抜兵団の司令部が置かれ、兵力の大半は航空機整備員や病院職員、憲兵などでした。そのほか、陸軍病院や武器弾薬などの補給所もそろっていました。

セブの南方第14陸軍病院には、病院長 真田武雄軍医中佐以下、医師看護婦従事者450名、患者800名を擁していました。

戦地では、赤十字マークを掲げていても米軍の攻撃を受けました。セブの陸軍病院も例外ではなく、多くの犠牲者を出しました。

赤十字マークの病院を空爆した米軍…

従来、「赤十字マーク」を掲げている病院や船、医療従事者などには絶対に攻撃を加えてはならないと戦時国際法「ジュネーヴ条約」で厳格に禁じられています。

日本は敗戦後、5700名余りの日本将兵がGHQによる極東軍事裁判で有罪判決を受け処刑されましたが、この裁判が公正なものならば、病院を空爆した米兵ら、広島・長崎に原爆を落とした米軍関係者も間違いなく有罪となったでしょう。

第14軍は、1941年11月6日に南方軍隷下の軍として設置され、フィリピン方面を戦域として本間雅晴中将が指揮をとりました。

その後、1944年7月には第14方面軍に改編昇格し、山下泰文大將が軍司令官となりました。

セブ島には、原田寛海軍少将率いる第33特別根拠地隊の兵、レイテ島からの無断撤退の疑いで一時職権を停止された福栄真平陸軍中將率いる第102師団の兵、レイテ島か

ら撤退してきた片岡薫陸軍中將率いる第一師団の兵の合計14500名の兵力が分散していました。

レイテ沖海戦から生き延び、セブ島に退却してきた将兵は、陸軍病院について「数百人でセブ陸軍病院の待避壕を天山陣地に掘ると言う新任務に当り、暑い国で土堀作業は空襲の合間を選んでの重労働でありました」と回想しています。

戦況が悪化の一途を辿る中、セブ島の日本軍指揮官の多くは総攻撃に出て玉砕すべきと主張しましたが、ルソン島の第14方面軍司令部はこれを却下し、遊撃戦を中心とする持久戦をするよう下令しました。そのため、セブ島諸隊は大東亜戦争が終戦した後まで日本軍は戦い続け、ゲリラによる攻撃でジャングルに追い込まれ、飢餓と病気で多数の死傷者を出しながら兵力を消耗していきました。

1945年8月28日、タボゴン町イリハン（セブ島北部）の丘にて日本軍は降伏しセブ島での戦いは終結しました。

日本人捕虜2667名、その中には数名の日本人女性看護師も含まれていました。

彼らは、現代を生きる私たちには想像も及ばない、苦戦、死闘、敗戦の驚くべき現実を味わいました。

フィリピン国内には166個の慰霊碑があるとされています。その大半は、戦友やご遺族の高齢化や代替わりに伴い管理が行き届かず、老朽化し、朽ち果てたものや撤去されたものもあります。

慰霊の面ではもちろん「祈りをささげる場所」

「歴史の風化」という観点からも問題となっています。慰霊碑があることで、旅行で訪れた際に、歴史に関心を持つ方も少なからずいます。次世代が戦争について考える機会にもなり、それが平和へとつながると希望を抱き、少しでも修復を急げたらと思います。



10月無料医療相談

マニラ日本人会診療所の日本人医師、菊地先生にセブにお出でいただきます。

日時：10月8日（土）
午前9時半～午後4時半

場所：セブ日本人会事務所

予約：10月6日までに事務局に電話でお申し出下さい。

対象：セブ日本人会、セブ日本人商工会議所会員およびその家族の方となっております。

以上

セブの美味しい地鶏を食べに来ませんか？
Q-Bay Japanese Restaurant

Q-Bayは、オープンエアが気持ちいい気軽に立ち寄れる居酒屋です。一日の疲れを癒しに來ませんか。
焼き鳥は100年続く秘伝のタレと、塩からお選び下さい。長時間コトコト煮込んだこだわりのラーメンもどうぞ。
ランチメニューは ラーメン、弁当など 全品200ペソ以下でご利用いただけます。
☎ 032-401-0402 ✉ qbayresto@gmail.com 📍 Q-Bay restaurant

Hours: 8:00am - 12:00am (Closed on Monday)
月～金：12:00～14:00 日～木：17:00～25:00 / 金・土：17:00～27:00

「第3回日比交流盆踊り大会」



8月12日・13日の2日間、セブ島で「第3回日比交流盆踊り大会」を開催いたしました。2日間で何と22,000人以上の来場者を記録し、会場は日本人やフィリピン人、その他たくさんの国からの参加者で大盛り上がりでした。昨今、日本本土でも、こんなに人が集まる盆踊り大会は少ないのではないのでしょうか。

この盆踊り大会は2013年、日本とフィリピンの親善・交流を深めるためにスタートしました。現在セブに在留している日本人の数は2,500人を超えています。更にここに夏休みを利用して語学学校に留学をしている日本人を加えると、相当数の日本人がこのセブ島に滞在していることとなります。しかしながら、これまで在留者、学生、長期滞在者、ビジネスマンなど、国籍、年齢、企業や団体にこだわることなく楽しめるイベントがありませんでした。そこで、セブ島をこよなく愛する有志が集まり「日比交流委員会」を設立。日本人が一堂に会し、フィリピンの子供たちが思いっきり楽しめる、この「日比交流・夏祭り盆踊り大会」がスタートしました。そして今年度からは日本人会主催で行うイベントにまで成長しました。



この盆踊り大会を開催するに際しまして、数多くの方々、企業様のご協力のお蔭です。心より感謝申し上げます。また、大会委員メンバーひとりひとりが、それぞれの仕事がある中、ひとりでも多くの笑顔を作り出すために、熱意と情熱を持って、準備を進めていきました。さらに、語学学生やフィリピン人のボランティアも50名以上加わり、大会当日までまさに驚きと感動の連続でした。

当日は浴衣を着た日本人、フィリピン人がたくさん訪れ、一見そこが日本であると錯覚してしまうほどでした。会場の中心に建てられた櫓を取り囲み、日本人、フィリピン人が一緒になって笑顔で踊った「東京音頭」、その後の「神輿の練り歩き」は、まさに会場がひとつになった瞬間でした。

会場にはセブの日系企業や語学学校だけでなく、フィリピン企業のブースを合わせまして、100以上もの店舗が立ち並び、それぞれ、こだわりの焼きそば・お好み焼き、ラーメンに豚丼などなど、本格的な日本食が手軽な値段で味わうことが出来ました。普段はなかなか口にする事の出来ない日本食に、会場を訪れたフィリピン人は大満足の様子でした。

ボランティア団体の誰でもヒーローとセブンスピリットの子供たちによる国歌斉唱から始まり、櫻井絹江日本人会会長の挨拶、その後、セブトップ様のご協力によりセスナ機を利用した天空ショーの演出で会場は一気に大盛り上がりでした。そして、餅つき大会、空手の演舞、NHKのど自慢コンテスト方式でのカラオケコンテスト、コスプレコンテスト、浴衣コンテスト、シノログダンス、ヨサコイダンス、豆まき（キャンディーまき）、大抽選会など様々な催し物を行い、数多くの日本文化をフィリピン人に紹介することが出来ました。日本からはプロ歌手3名（響あゆみさん、KENKOHさん、五条哲也さん）にこの盆踊り大会のためにお越しいただき、日本のプロの歌を披露できました。両日行われた花火の打ち上げで、会場の盛り上がりはピークに達し、その光景は会場にいるすべての人々の心にきっと素敵な思い出を残してくれたことでしょう。



本当に、セブにいながら120%日本を味わえる、そんな2日間であったと思います。その場にいた人々すべてが笑顔になれるこんな素晴らしいイベントを今後も続けて行ければ幸いです。このような素敵な時間を作ることにご協力いただきました、ご支援・ご協力者の方々に心より感謝申し上げます。

今年来場できなかった皆様、来年は是非ご来場をお待ちしています。今年ご来場の皆様、来年の開催も楽しみにしてください。さらにバージョンアップした素敵な盆踊り大会を開催いたします。

日本人会理事イベント担当
山中 博

第 1 7 回大使杯ゴルフ大会

7月17日（日曜日）に三部合同大使杯ゴルフ大会が行われました。
（大使館・セブ日本人商工会議所・セブ日本人会）

去年は雨の中の大会で大変でしたが今年は晴天に恵まれ参加者も48名の13組が朝7時からスタート致しました、今回はマニラから石川大使も来て頂き表彰式のご挨拶では新フィリピン大統領とお会いした時の事などをお話して頂きました。

石川大使のご挨拶の後はセブ日本人商工会議所川野会頭のご挨拶そして日本人会からは私が挨拶させて頂きました。

今回セブ日本人会からは3名しか参加されなかった事をお詫び致しました。
（セブカンのメンバーが少なく中々集まりませんでした）
そして今年からセブ日本人会で行う事になった” 日比交流盆踊り大会” の説明をさせて頂きご協力をお願い致しました。

その後、ダブルペリア方式で行われた表彰式が始まり各社から協賛して頂いた賞品を川野会頭からお渡しして頂き、石川大使からは、ベストグロス賞川上さん（日本人会）3位：浅井さん（太平洋セメント）準優勝：中澤さん（R i c o h I m a g i n g）そして優勝：木畑さん（T a i y o y u d e n）と決まり賞品をお渡しして頂きました。

表彰式で驚いたのはベストグロス賞（76）で回って来た川上さんのハンデ（0）だったのです。
（ダブルペリア方式で行われた大会でハンデ（0）と言うのは初めて見ました）

久々にいろんな方々とお会いでき毎年の事ですすが素晴らしい料理とお酒も入り盛り上がり石川大使に来て頂いた今年の大会も無事に終了致しました。

（皆様、お疲れ様でした）



第 9 回セブ日本人墓地、お墓参りのご案内

下記の如く秋分の日近くの9月25日（日）に恒例の墓参りを予定していますので、
ご参列をお待ちしております。

日本人墓地は戦前より当地で骨を埋められた先人達の魂を、永代にわたり鎮魂しています。
軽装で結構です。ミネラルウォーター、お花、お墓参りの用具は用意致します。
セレモニーは20～30分の予定。
参列ご希望の方はセブ日本人会事務所：電話：032－343-8066。
Email: info@ja－cebu.com
宛てに、9月23日（金）迄にご連絡下さい。
（お電話での日本語対応は月曜日のみ。火～土曜日は英語の対応となります）

日時：2016年9月25日（日曜日）
午前10時30分～11時00分頃

場所：セブ日本人墓地
リロアン町 Calero Memorial Estates-Cebu 墓地内

集合:セブ日本人会が有るビルの駐車場に9時55分までに集合願います。
10時頃出発予定。

雨天決行

直接お車で墓地に行かれる方は、下記の道順を御参照下さい。
マクタン島からだとニューブリッジを渡り、最初の交差点（右手前に Phoenix 左向こう側に
Total ガソリンスタンドが有る交差点）を右折し、リロアン方向へ向かいます。
曲がって約 1.7 kmで大きな橋（Cansaga Bay Bridge）が見えます。
橋を越え直進し約 3.5 キロ（約 5 分）で左右に小さい市場が見えます。
（橋から約 1.5km の右側に Phoenix ガソリンスタンド有る交差点は違いますので、お間違えの
無い様に）
墓地に行く交差点左側にセブンイレブンの看板と、Bea’s bake shop のオレンジ色看板が見えます。
その小さい市場の交差点を右折し、舗装道路が終わり悪路を約 30m 位走り左折。
約 200m で “Calero Memorial Estates-Cebu” の看板が見えますので、グリーンの
ゲートを入ると墓地です。上り坂を道なりに右カーブを過ぎて突き当り右奥が、日本人墓地。
白っぽい日除けテントと、水色の低い壁が目印です。

D' Tratou Cebu Translation & Travel Assistance



... 日英翻訳 ...

(横浜市立大学文理学部英文科卒 鈴木 了)

(Document Translator): Rio Suzuki [MEL in Yokohama City Univ.]

* 公文書/証明書(Official Documents / Certificates) * 契約書等(Contracts / Agreements)

* 仕様書/マニュアル(Business Technical Specifications)

... 遺族年金申請手続 ...

(Procedures for Pension Benefits to a Filipina family)

*Cedula, *BIR Cert, *Barangay Cert, *Child ID, etc.

(日本国での担当:宮下尚之 社会保険労務協会(株))



Please feel free to inquire directly!

... 法律相談 ...

(Legal Advice & Assistance).

フィリピン国弁護士による諸手続・法律相談

(会社設立(SEC・DTI)(Mepz 含む) 養子縁組・離婚・その他訴訟)

(担当: 弁護士 ダニロ シノブハン 日本語できます)

◆ Inquiry: Cell: 0917-7171-839. Tel & Fax: (032) 263-0614

◆ Email: suzukebu@yahoo.co.jp ◆ Website: www.cebunmactan.jp www.mactanboy.com

パジェットコンド・賃貸 (日本人所有) のご案内



最高のロケーション (アヤラデパートまで徒歩7分)・フィットネス
プール、TV、調理器具、ダブルベッド、エアコン、ソファ、窓カー
テンすべての生活用品が完備しています。新築2年のスタジオタイプ。

契約書は日本語、日本での支払い可能
(日本人への賃貸希望)

--- 問い合わせ ---

セブでの連絡先・現地案内 (無料) は263-0614[鈴木]にどうぞ！
契約詳細等は大阪市在住の女性・竹田さん (所有者) に直接お問い合わ
せ頂きます。

--- 賃貸料 ---

[参考]: 最小期限1年、月4.5ペソ、長期契約は割引。
共有料金等は直接ご相談頂きます。

※その他リオン町高級団地「ドロス不動産」に家屋所有。
竹田さんの母親の隠居家 (2F) ですが、フィリピンメードだけだと不安なので
一緒に住んでくれる日本女性 (夫妻可) を探しています。寝室4部屋あり3部
屋、その他は自由にお使いいただけます。家賃格安。ご相談ください。

◆ セブの問い合わせ: 0917-7171-839. (032)263-0614

◆ Email: suzukebu@yahoo.co.jp www.cebunmactan.jp

広告掲載募集

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール: info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日 (奇数月の月初) の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

セブ島を100倍
楽しむための
オプションツアー
の選び方



セブ在住だけでなくセブやボホールの観光をしたことがない、、、
日本から友達があるので、一緒に出かけたいけどガイド出来るほどよく
知らない、、、 など悩みの方は、是非とも弊社までお尋ね下さい。
格安料金でのホテル手配やオプションツアー手配など様々なプランの
ご相談を賜ります。アイランドピクニックから市内観光、ボホールツアー、
楽しいツアーをご提供いたします。

PTNトラベルはココが安心!

フィリピン政府観光局認定の正規旅行代理店

日本人スタッフ増員だから何かと安心

日本人スタッフの無料電話による無料相談、年中のトラバでもすぐに対応します。

現地では観光客ガイドがご案内

まずは気軽に日本人スタッフ 直通ダイヤル 0917-622-0373
までお電話して下さい。



PTN トラベル PTN TRAVEL CORP

(032)-340-7910/495-8521
c/o Shudou Jyuku Brgy, Lapu-lapu

オプションツアー

セブ市内観光 US\$ 60

アイランドピクニック US\$ 80

ボホール島1日観光 US\$ 120

みどころツアー (夜景観賞) US\$ 55

ナイトシティツアー US\$ 55

わくわくマクタン島めぐり US\$ 30

カウサンフォールツアー US\$ 95

ニューハーブショー&ディナー US\$ 55

ジャングリランチツアー US\$ 95~

その他多数、用意しています!!上記料金は、大人お
一人の料金です。子供料金もあります。セブの海
を楽しむ方、お気軽にお問い合わせ下さい。

2016 年度セブ日本人大運動会のお知らせ

毎年恒例のセブ大運動会の季節になりました。
本年度はほとんどの競技を子供から大人まで参
加できるようにいたしました。また、大好評で
あった模擬店やバザーも出店予定です。皆様奮っ
てご参加頂きますようご案内申し上げます。

開催日時: 2016 年 10 月 2 日 (日曜日)
* 雨天決行
スタート 7 時 45 分 終了予定 正午 12 時
場所: FORMER DON BOSCO BOYS HOME
(ガイサノカントリーモール近くバニラッ
ドセブ市)
参加費用: 無料

エメラルドグリーンダイビングセンター
Emerald Green Diving Center

☆☆ ジンベエツアー開催 ☆☆

日本人インストラクターが5人常駐!!ダイビング
が初めての方やお一人で参加される方にも安心。
少人数、安全そしてきめ細かなサービスで快適
なダイビングを約束♪またセブ島の南サンタンダ
ー、モアルボアル、ボホールにも支店 (もちろん日
本人インストラクター常駐) がありますので、マク
タン以外の海を潜りたいダイバーの方は、ぜひこ
ちらも潜ってみてはいかがでしょうか?

電話: (032)495-7728 or 495-8372
携帯: 0917-321-6349(日本語可)
場所: Anemone Resort 内
Buyong, Maribago, Lapu-lapu City,



特典

セブ島通信を見て事前に
ダイビングをご予約された方
オリジナルTシャツ贈呈&ランチ無料!
プロモ期限: 当セブ島通信発行年月より1年間

SHIRONA MART
シロナマート

圧倒的な品揃え!

日本より直輸入

学生 ID 提示で
留学生割引あり!

電話番号: 032-492-1953
営業時間: 11:00 - 21:00
住所:
1F Sebastian Hotel, M.L. Quezon National Highway,
Lapu-Lapu City
(マクタンニュータウンゲートすぐ横、セバスチャンホテル1階です)





BBMAX TECH INC.
TENSO TV MOBILE

現在セブでは 41 箇所に設置済みです
日本と同じでリモート
一つでテレビが観れる

Aコース (民放8チャンネル)
¥18000 / 年

Bコース (民放,WOWOW,BS)
¥27000 / 年

取り付け時間五分で終了

面倒な操作が要らないの
が受けてます!

032-492-1953
0917-622-9863





第二回マニラ日本人学校巡回授業

八月十三日（土）第二回マニラ日本人学校巡回授業が行われました。
◆小学二・三年生 生活「水であそぼう」 高橋千尋教諭



身近なものを使って大きなシャボン玉を作りました。ストローやペットボトルを切ったもの、ハンガーなど身近なものを使い、どうやったら大きなシャボン玉ができるか、生徒一人一人が工夫をして集中して取り組んでいました。

◆道徳「お世話になっている人に感謝して」 高橋千尋教諭

感謝したい人は誰か、どんなことをしてくれているか、どんな言葉を伝えた

いか、読む人がうれしい気持ちになるように心を込めてカードを作りました。誰にカードをあげたのかな？



◆日本語J2・J3 彫刻「友達の特徴をとらえて頭像をつくろう」 川端浩徳教諭



プロジェクターを使い、わかりやすく手順を説明してもらい、友達の頭像を作りました。初めてのことでしたがみんな積極的に取り組んでいました。うまくいかないことも多かったけれど、作品は素晴らしいものが出来上がりました。

◆小学四・五・六年・日本語J5 音楽「キリマンジャロを楽しく演奏しよう」 永井由紀教諭

「キリマンジャロ」を鍵盤ハーモニカやタンバリン、鈴、カスタネットなどの楽器で演奏しました。曲を聴いてリズムをとるところから始め、鍵盤ハーモニカでメロディの演奏にも挑戦しま

した。見たこともないような打楽器もあり、初めて触る楽器にみんな興味津々でした。短い時間でしたが、それ



ぞれの楽器で演奏することができ、楽しい授業でした。

◆中学生 体育「バスケットボール」 佐藤一郎教諭

フィリピンの国技であるバスケットボールを身近に感じてもらうことを目的にバスやドリブルの練習をしました。フィリピンでは人気のあるスポーツですが、補習校の生徒はあまり馴染みがないようで最初はボールの扱いがなかなかうまくいきませんでした。練習するうちにだんだんに上手になっていきました。普段、あまり体を動かす機会がないようで、準備体操ではみんな体が固く苦労していました。補習校ではほとんど体育の授業はしていま

せんが、これからは折を見て体を動かすことも取り入れていきたいと思いま



◆中学生J5 絵画「自画像を描こう」 中野満教諭

自分の写真を印刷し、トレーシングペーパー、カーボン紙を使って画用紙に写し自画像を描きました。暗い色の画用紙に描き、白い色鉛筆を効果的に使用し、本格的な自画像が出来上がりました。基本が写真を写すので、誰でも簡単に下絵を描けました。絵の苦手な生徒も積極的に取り組んでいま



◆J4 体育「空手」
最初は恥ずかしそうにしていた生徒も先生のお手本を見てやり始めると真剣に取り組んでいました。この授業を通じて日本の礼儀を体験してくれたと思います。

◆J4 理科「浮沈子を作ったものの浮き沈みを考える」 新井啓臣教諭

アルキメデスの原理を理解するために浮沈子を作りました。動画を見ながらペットボトルの浮沈子を作りましたが、自分たちで体験することにより理解が深まったと思います。

七夕

七月九日（土）三時間目にたなばたを行いました。笹を折り紙で作った飾りを飾ったり、願い事を書いた短冊を飾り付けました。みんな願い事が叶うといいね。

小学四年生による「たなばたさま」の笛の演奏。みんなこの日のために一生懸命練習しました。上手に弾けました。

図工「うちわ作成」 小学四年生 若菜 紀子



両面に絵柄を描き、うちわの骨に貼って出来上がりです。
低学年で使用する水性絵具と違い、慣れないボスターカラーで予想外の展開もありました。
2週間にわたり、よく集中して仕上げられました。



大雨で床上浸水の被害に遭った。確かに道路は直すた
びにかさ上げされ、我が家は
道路から見ればすいぶん低く
なっている。が、長年住んで
いるが、不思議と家にまで浸
水することなど今まで一度も
なかった。しかし先日、水
が玄関と裏口からどんどん入
り込んできた。家族総出で水
をかき出したが、そんなこと
では追いつくはずもなく、家
の半分がぐるぶしくらい浸水
した。この時は単に雨の量が
かつてないほどだったのか
も、と、のんきにしていたの
だが、その後の普通のスコー
ルでも我が家だけが浸水す
る。

どこから水がくるのかとよく
よく見ると、前回記事にし
た隣の叔父さんが勝手に掘っ
た穴の残土のせいで水が溜ま
り、家に流れ込んでいた。そ
うとわかれば何とかせねば。
と、とりあえず土嚢を作って
みる。その作業を息子たちと
やっていったが、だんだん腹が
立ってきた。なぜ自分たちが
こんな思いをしなくてはなら
ないのか、と。しかし叔父さ
んに文句を言ったところでお
そらく何もしてはくれまい。
ならば仕方がない。自分でど
うにかするしかない。バケツ
で少しずつ土を運び、叔父さ
んの家の前に置いてみた。五
杯も運べばクタクタになる。
しかし千里の道の一步から。
塵も積もれば山となる。毎
日、少しずつでもこの土を動
かし、何年かかってでも全部ど
かしてやるわい、と決意をし
たのだった。

そんなことをしていたら、隣
の叔父さん、さすがにいた



たまれなくなつたのか無言で
手伝うようになった。しかし
あくまでもこつちの土を丘の
てっぺんに移すだけ。
これでは何の解決にもならな
いことを理解しているのか、
とりあえず仕事をしている振
りをして面目を保っているつ
もりなのかは不明だが、不毛
なことをしている。そんな叔
父さんを横目に見ながら八ポ
ネツサ（日本人女性）の本気
を見せてやろうじゃないの、
と、手押し車を購入すること
にした。近所のホームセン
ターに行ってみたが、ない。
こんなところにはないだろう
と思っていたローカルなデ
パートを覗いてみたらなんと
あった。しかし手押し車の上
にはたくさん荷物が置いて
あり、果たしてこれは売り物
なのかさえよくわからない。
そこで近くにいた店員を呼ん
でみたが、あからさまに無視
をされた。

こんなことくらいで普段は怒
らないが、決して安くはない
手押し車をなぜ私が自腹で買
わねばならぬ、とムカムカし
ているところだったし、急い
でもいたので、自分で荷物を
どかしレジに持っていくた。
すると先程、私を無視をした
店員がすっ飛んできて、「お
持ちしますよ。」と言うので、
今度は私が無視をしてレジ係
りにこれは売り物なのかと聞
く。

値札がついていたので、売り
物です、と答え、購入するの
かと聞かれたので、うん、と
頷く。

レジでお金を払い、ふと手押
し車を見ると、部品が外れて
いた。よく見ると、左右対称
の部品が明らかに一つ足りな
い。そうレジ係に言うのと、ほ
かに在庫があるか確かめてみ
ると言い、さっきの店員をど
こかに行かした。しばらくす
ると店員は戻ってきて、在庫
はなくこれしかないという。
何度も言うが決して安くはな

い道具である。
焦って不良品を買うこともな
い。ならばいらぬから金を返せ
と言うと、一度レシートの
出た商品の返品は受け付けな
いとレジ係りはきっぱりと
言った。そばにいた店員も集
まってきて、欠陥品だろうと
お前が納得して買ったのだか
らしょうがない、と責められ
た。話にならない、と責任者
を呼んでもらったが、登場し
た売り場責任者も同じように
ちゃんと確認せずにお金を
払った私が悪いと言う。
更に驚いたことにこの人、部
品が足りないことは承知して
いたと言う。
それでも確認もせず買った私
のあくまでも責任だとおつ
しやる。わかりました、わか
りましたよ、私が悪う御座い
ました、と謝り、経理責任者
を呼んでもらうように頼む。
たつぷり待たされた挙句、経
理責任者がやってきて、私の
顔も見ず無言で返金してくれ
た。このデパートには二度と
来るまい、と心に決めた。そ
ういえばここは来るたびにそ
う思っていた。
数日後、別のホームセンタ
ーでちゃんとした手押し車を買
入し、順調に我が家の家の前
に積まれた土を叔父さん宅の
前に移動している。このまま
小さな丘分くらい土が叔父
さんの家の前に移動すれば、
今度は叔父さんの家がちよつ
との雨でも冠水するであらう
ことは容易に想像できる。
叔父さんも私たちが作業をし
ていると何か言いたそうにし
ているが、敢えて気づかない
振りをしている。
ハポネツサを怒らせると恐ろ
しいというのを雨が降る度
に思い知ってくれることを願
いつつも相変わらず叔父さん
にはにこやかに接している。
このくらい図々しくないとこ
の国では長生きできない。

女 36 歳 セブ島で楽しく明るい貧乏生活

JUNKO

ボランティア関係の活動をしているとよく耳にする言葉「恵まれない子供たち」。昔からこの言葉に違和感を覚えていたのですが、世間的に「恵まれない子供たち」と共に生活する中で、さらにその違和感が増しています。

私は、これまでやりたいことはやってきて、そのうえ今も自分のやりたいことをやっています。そんな私を見て「JUNKO は恵まれているね」という人がいました。「JUNKO は幸せだね」と言われれば、素直に「はい」と答えられるかもしれませんが「恵まれている」と言われると「？」と感じてしまいます。「恵まれている」＝「裕福」と考えるのであれば、なおのことです。小さい頃「焼き鳥は雀の肉だ」と聞いては雀を追いかけて「唐揚げはカエルの肉だ」と聞いてはカエルを捕まえていたので、たぶん「裕福」ではなかったと思います。

では「恵まれている」とは、一体何に「恵まれている」のでしょうか。セブでの生活を始める前、私が辿り着いた答えは「選択肢」です。確かに、私にはお金がありませんでしたが、たくさんの「選択肢」に恵まれ、そのおかげで自分のやりたいことを見つけ、実行できていると考えています。いくらお金があっても、健康上の理由、家庭の事情など、様々な理由で「選択肢」が狭まることがあります。

そんな中、セブの子供たちに出会いました。目の前に幸せそうに笑う子供たちは「選択肢に恵まれているか」答えはもちろん「NO」です。日々の食事や服装、そして進学から就職まで、実現可能な選択肢の幅は非常に狭く、限られたものです。そこでまた考えます。この子供たちは「恵まれない子供たち」なのか。こちらもちろん「NO」です。

この夏、当団体にはたくさんに日本の学生さんがやってきて、子供たちや地域の方々と触れ合っていただきました。その中でよく「与えるつもりで来たのに、たくさんものをもらった」という感想を聞きました。世間的に恵まれているとされる日本の学生さんが、恵まれないとされる子供たちから何をもらうのか。それは「笑顔」であり「幸せ」でもあります。

「恵まれている」というのは、お金や選択肢ではなく「幸せを感じる心」を持てる人であり、そういう人生を送ることが出来る人なのかなと、最近思うようになりました。たくさんのお金があって、無限の選択肢の中で、「幸せを感じる心」を忘れて苦しむ人たち。一方、お金も選択肢も限られた中で「幸せを感じる心」を忘れず、その幸せを周囲にも振りまくフィリピン人。そもそも言葉に執着したくはないのですが、日本からお越しになる学生さんには「恵まれない子供たち」に何かをしてあげるためではなく「お互いの笑顔や幸せをシェアする」ために、フィリピンを訪れてほしいと思います。

そんなことを考えながら、お金も選択肢もない私は、今夜もドライフィッシュをつまみにビールを飲んで、幸せに浸ります。

広告掲載のお礼

この度フリーペーパー各社（クーポン、咲楽、セブポット様）のご厚意により日本人会の情報、お知らせを無料で掲載していただくことになりました。いろいろな情報がたくさんの方に発信できるようになり関係者一同喜んでいきます。この場を借りて御礼を申し上げます。

セブ日本人会 会長 櫻井絹恵



★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の 1 ヶ月前を締切として原稿を公募しております。